

iStorage VSS Provider Ver2.4  
インストールガイド

## はじめに

このたびは、弊社製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

このインストールガイドでは、iStorage VSS Provider のインストールに関して説明しています。使用方法に関しては、CD 媒体に含まれる電子マニュアルをご参照ください。

### 備考

1. 本製品は、Windows Server 2012、Windows Server 2016、Windows Server 2019 に対応しています。
2. 本文中の以下の記述は、特に明示しない限り、対応する製品名を意味します。

本文中の記述	対応する製品名
VSS Provider	iStorage VSS Provider
iStorageManager	WebSAM iStorageManager
ControlCommand on Windows	iStorage ControlCommand on Windows
Protection Manager	WebSAM Storage Protection Manager
StoragePathSavior	iStorage StoragePathSavior

3. 商標および登録商標
  - Microsoft®, Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  - その他、記載されている製品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。
4. 本文中は、特にご注意ください内容を以下で示しております。内容については必ずお守りください。  
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、システム運用において影響がある場合があります。

表示の種類	
種類	内容
	操作において特に注意が必要な内容を説明しています。

# 目次

はじめに .....	2
目次 .....	i
第1章 導入 .....	1
1.1 動作環境 .....	1
1.2 インストール・アンインストール .....	2
1.2.1 インストール .....	2
1.2.2 アンインストール .....	5
第2章 運用準備 .....	6

# 第1章 導入

## 1.1 動作環境

下記は、本バージョンの製品の初期出荷時点でサポートする動作環境です。

最新の情報については、PP・サポートサービス(事前の登録が必要)により提供しております。

表1 VSS Provider の動作環境

対象ディスクアレイ	iStorage M100 シリーズ、iStorage M300 シリーズ、 iStorage M500 シリーズ、iStorage M700 シリーズ、iStorage M5000
サーバ	Express5800/100 シリーズ、Express5800/1000 シリーズ
	・Windows Server 2012 Standard ・Windows Server 2012 Datacenter ・Windows Server 2012 R2 Standard ・Windows Server 2012 R2 Datacenter ・Windows Server 2016 Standard ・Windows Server 2016 Datacenter ・Windows Server 2019 Standard ・Windows Server 2019 Datacenter
メモリ	OS 必要メモリ+8MB 以上
ディスク容量	1.2MB 以上
バックアップ対象	・ファイルシステム (NTFS) ・Exchange Server データベース ・Hyper-V 仮想マシン環境

## 1.2 インストール・アンインストール

### 1.2.1 インストール

以下の手順にしたがって、VSS Provider をインストールします。

インストールするときは、次のこと確認してください。

- 管理者権限でログインしている。
- すべてのプログラムが終了している。
- ControlCommand がインストールされている。

**1. VSS Provider のインストーラが格納された CD 媒体を CD-ROM ドライブにセットします。**

ここでは、CD-ROM ドライブに割り当てられているドライブを「X:」として説明します。

**2. 下記のインストールプログラム(SETUP.EXE)を実行します。**

X:¥VSS¥SETUP64¥SETUP.EXE

**3. インストーラの指示に従って作業します。**

VSS Provider (x64)がインストールされます。



下記のサーバに StoragePathSavior と VSS Provider をインストールした場合、設定が必要です。

- Hyper-V 仮想マシンのバックアップシステムを構築する場合
  - ・業務サーバ
  - ・バックアップサーバ
- ファイルシステム (NTFS) のバックアップシステムを構築する場合
  - ・バックアップサーバ (インポートサーバ)
- Exchange Server データベースのバックアップシステムを構築する場合
  - ・バックアップサーバ (インポートサーバ)

上記のサーバに対して下記が自動実行されるよう、タスクスケジューラやジョブ管理ソフトに登録してください。

- ① コンピュータ起動時、「iSMvss\_clear」コマンドを実行。
- ② 毎日一回、バックアップ実行中以外の時間帯に「iSMvss\_clear delete」コマンドを実行。

以下はタスクスケジューラへの登録手順例です。

<①の手順例>

- (1) Windows のスタート画面 (スタートメニュー) から、[タスク スケジューラ] を実行します。  
[操作] ペインで、[タスクの作成] をクリックします。
- (2) [タスクの作成] ダイアログボックスの [全般] タブで以下を設定します。
  1. [名前] に iSMvss\_clear と入力します。
  2. [セキュリティオプション] の [ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する] をクリックします。
  3. [セキュリティオプション] の [最上位の特権で実行する] チェックボックスをオンにします。
- (3) [タスクの作成] ダイアログボックスの [トリガ] タブで以下を設定します。
  1. [新規] をクリックし [新しいトリガ] ダイアログボックスを表示します。
  2. [新しいトリガ] ダイアログボックスの [タスクの開始] を [スタートアップ時] に変更します。
  3. [新しいトリガ] ダイアログボックスで OK をクリックします。
- (4) [タスクの作成] ダイアログボックスの [操作] タブで以下を設定します。
  1. [新規] をクリックし [新しい操作] ダイアログボックスを表示します。
  2. [新しい操作] ダイアログボックスの [設定] の [プログラム/スクリプト] で [参照] をクリックし、  
[開く] ダイアログから以下のプログラムを選択します。  
[インストールフォルダ] ※ %SMRpl%sbin%iSMvss\_clear.exe  
※ [インストールフォルダ] の既定値  
「C:\Program Files (x86)\NEC」
  3. [新しい操作] ダイアログボックスで OK をクリックします。
- (5) [タスクの作成] ダイアログボックスで OK をクリックします。  
[タスクスケジューラ] ダイアログボックスで、このタスクを実行するユーザーアカウント情報が要求されます。  
Administrator 権限がある「ユーザー名」、「パスワード」を入力して、OK をクリックします。

<②の手順例>

- (1) Windows のスタート画面 (スタートメニュー) から、[タスク スケジューラ] を実行します。  
[操作] ペインで、[タスクの作成] をクリックします。
- (2) [タスクの作成] ダイアログボックスの [全般] タブで以下を設定します。
  1. [名前] に iSMvss\_clear delete と入力します。
  2. [セキュリティオプション] の [ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する] をクリックします。
  3. [セキュリティオプション] の [最上位の特権で実行する] チェックボックスをオンにします。
- (3) [タスクの作成] ダイアログボックスの [トリガ] タブで以下を設定します。
  1. [新規] をクリックし [新しいトリガ] ダイアログボックスを表示します。

2. [新しいトリガ]ダイアログボックスの[設定]を[毎日]に変更し、開始日時を設定します。
  3. [新しいトリガ]ダイアログボックスで OK をクリックします。
- (4) [タスクの作成]ダイアログボックスの[操作]タブで以下を設定します。
1. [新規]をクリックし[新しい操作]ダイアログボックスを表示します。
  2. [新しい操作]ダイアログボックスの[設定]の[プログラム/スクリプト]で[参照]をクリックし、  
[開く]ダイアログから以下のプログラムを選択します。  
[インストールフォルダ※] ¥iSMrpl¥sbin¥iSMvss\_clear.exe  
※ [インストールフォルダ]の既定値  
「C:¥Program Files (x86)¥NEC」
  3. [引数の追加]ダイアログボックスに「delete」を入力します。
  4. [新しい操作]ダイアログボックスで OK をクリックします。
- (5) [タスクの作成]ダイアログボックスで OK をクリックします。
- [タスクスケジューラ]ダイアログボックスで、このタスクを実行するユーザーアカウント情報が要求されます。  
Administrator 権限がある「ユーザー名」、「パスワード」を入力して、OK をクリックします。

## 1.2.2 アンインストール

以下の手順にしたがって、VSS Provider をアンインストールします。

アンインストールするときは、次のこと確認してください。

- 管理者権限でログインしている。
- すべてのプログラムが終了している。
- ControlCommand がインストールされている。



VSS Provider のアンインストールは、ControlCommand のアンインストールより先に行なって下さい。



VSS Provider のアンインストールを行う場合、以下の手順をあらかじめ実施してください。

- (1) VSS Provider のサービスが起動されているか確認します。  
起動されている場合、下記の操作を実行してください。
  - ・「Volume Shadow Copy」サービスの停止
  - ・「NEC VSS Provider」サービスの停止
- (2) バックアップサーバに StoragePathSavior をインストールしている場合、バックアップサーバのタスクスケジューラに登録された以下のタスクを削除します。  
`iSMvss_clear`

1. [コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]または[プログラムと機能]から次のソフトウェアをアンインストールします。

VSS Provider (x64)

2. インストーラの指示に従って作業します。

VSS Provider (x64)がアンインストールされます。

## 第2章 運用準備

Protection Manager の「Protection Manager CLI ユーザーズガイド(IS315)」の「3.9 VSS を使用するための設定」に記載されている手順に従い設定します。